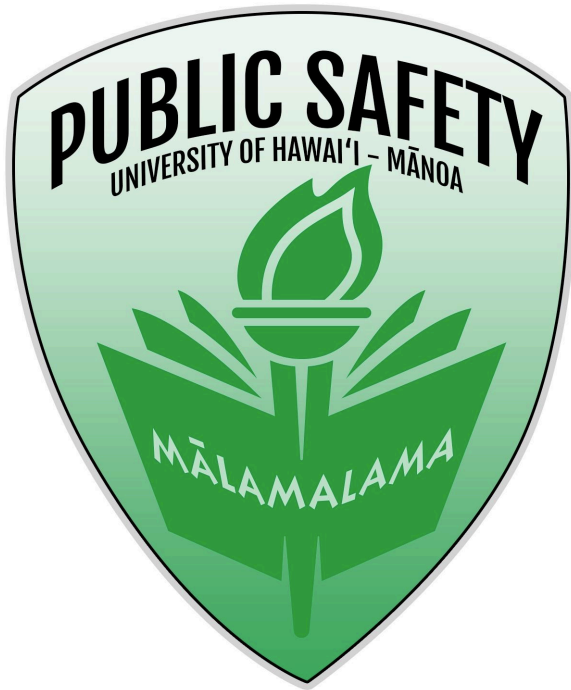




## Hawaii Safety and Emergency ハワイでの安全と緊急時の対応



### UHM Department of Public Safety

#### 緊急時のアラートを設定すること

- 携帯電話にテキストで送られるキャンパス緊急通知を [www.hawaii.edu/alert](http://www.hawaii.edu/alert) で設定してください。

#### これらの電話番号を保存すること

- UHM DPS Dispatch: **808-956-6911**
  - この番号にかけると、Department of Public Safety (DPS)のオペレーターに繋がります。もし青く光っている緊急電話ボックスが近くにある場合、受話器を取る、もしくは”call”ボタンを押せば、オペレーターと繋がります。
- UHM Safety Escort: **808-956-SAFE**
  - DPS は日没から夜明けまでの間、一人でキャンパス内を歩いている人をエスコートするサービスを行っています。この番号にかけると、あなたの行きたい場所までエスコートしてくれます。乗り物によってか、もしくは歩きで付き添って、キャンパス内の駐車場や建物まで送ってくれます。

### On-Campus Resources キャンパス内の相談連絡先

PAU Violence	808-956-8059	<a href="http://www.hawaii.edu/womenscenter">www.hawaii.edu/womenscenter</a>
UHM Counseling and Student Development Center	808-956-7927	<a href="http://manoa.hawaii.edu/counseling">manoa.hawaii.edu/counseling</a>
University Health Services Manoa	808-956-8965	<a href="http://www.hawaii.edu/shs">www.hawaii.edu/shs</a>

### Off-Campus Emergency Numbers キャンパス外での緊急連絡先

Honolulu Police Department	911
Ambulance	911
Fire	911
Poison Center	800-222-1222
Sex Abuse Treatment Center	808-524-7273

(次のページも御覧ください。)



## Hawaii Safety Tips

ハワイは比較的 안전한場所ですが、それでも常に身の回りに気をつけることは大切です。ホノルルも世界の他の大都市同様人が密集しています。以下の注意点に気をつけることであなたのハワイ滞在が安全でより楽しくなります。

### キャンパス内

- HELP の近くや教室であっても持ち物を置いて席を離れない。もし HELP 内で物を無くした場合、HELP オフィスにある忘れ物入れを確認に来ること。
- 教科書や個人の物に名前を書くこと。教室やラウンジに教科書を一晚中置かない。キャンパスに教科書を置いて起きないならロッカーを借りてください。ちゃんと厳重に閉まってください。
- 夜キャンパス内を一人で歩かない。（特に女性にとってはキャンパス内のほうが外より危険な目に合う可能性が高いこともある。）
- もし後を付けられていると感じたらキャンパス内に設置されている青いライトが付いた緊急電話を使うか、(808-956-6911) に電話し campus security に連絡する。
- キャンパス内であれば、(808) 956 - 7233 に電話することで campus security が夜にあなたの目的地まで無料で安全にエスコートしてくれるサービスもある。
- 自転車を使わない間は自転車置場などに停めしっかり鍵をつける。チェーンの鍵より U 字のほうが盗難されにくい。自転車のサドルや他の付属品は可能であれば取り外し持ち歩く。詳しくは Bike Safety 冊子参照。
- hawaii.edu メールを作った後、携帯で UH 警戒にサインアップしてください。自動的に警戒をメールで届きます。
  - <http://www.hawaii.edu/alert> に行つて “Sign in to UH Alert” をクリック。
  - “UH Manoa & Vicinity” をチェックし、携帯番号をインプットしてセイブ。
  - もしキャンパス内に緊急などがある場合、緊急の事をメールで受け取ります。



### キャンパス外

- 多額の現金を持ち歩かない。
- 夜に一人で歩かない。
- 特別な目的がある時以外は高価なものや露出度の高い服を身につけない。
- 店から出る前に財布をかばんにしまう。
- 斜めがけバッグを使うよう心がけ、常に鞆の口を閉めておく。
- どんなに親切に見える人でも見知らぬ人にはついていかない。
- ATM は明るく人が多い場所でしか使わない。
- 現金をせがんでくる見知らぬ人は受け答えせずに無視する。
- 照明がある大きい道を利用し、絶対に近道しようとして細い路地を歩かない。





- もし夜に暗い道を歩かざるを得ない場合、車や他の歩行者からあなたが見えるように携帯のフラッシュライトを使う。
- たとえ道に迷っていてもキョロキョロせず自信を持って歩く。強盗犯は自信がなさそうに歩いている人を狙いやすい。
- ダウンタウンやチャイナタウンなど浮浪者が多い場所は夜に行かない。
- もし一人の時に不審者を見つけた場合、携帯で友達と電話するか電話しているふりをする。
- 緊急の時は、9 1 1（警察、救急車、消防車呼び出し必要時）に電話すること。

## デバイスの安全

最近では、携帯やパソコンは重要な情報をもっています。それらを守るのも大切です！

- 携帯などをなくしたり、盗まれた時とため“Find My Phone”「端末を探す」などのアプリをインストールしてください。携帯を無くした最にはこのアプリがパソコンなどの別のデバイスから携帯を追跡ができます。
- 念の為、携帯を無くした時のためになるべく日常的に携帯を別のデバイスやクラウドアカウントなどにバックアップしてください。
- Apple Pay などモバイル決済をされる時は、携帯に厳重なロックを掛けるように。
- 知らない人に携帯を貸さないこと。

## 個人の安全アイテム

安全強化とために、次のような個人用安全用品を購入することを検討してください：

- **ミニ懐中電灯**：夜出かけている時のためキーチェーンなどに付ける小さな懐中電灯ならいつも持っていられる。
- **個人警報**：個人警報はボタンをおすと大きな音を出します。キャンパス内なら、大学の本屋さんで購入できます。キャンパス外なら、Longs Drug や Wal-Mart などで購入できます。小さくてキーチェーンに付けられるものが多いです。
- **唐辛子スプレー**：襲われた時に唐辛子スプレーは自衛兵器として使えます。スポーツ店や軍店などで購入できます。

## 交通機関

- バスパスは財布やパスケースに入れ、ポケットには入れないようにする。落として紛失した場合は新しいバスパスを購入しなくては行けない。
- 特に夜は一人ではなくなるべく友達とバスに乗るようにする。
- 持ち物は全てかばんの中に入れバスで落とさないように気をつける。落とし物はなかなか落とし主には返ってこない。
- もしもの時に助けを求めやすくするため、バスドライバーの近くかバスの前の方に座る。
- もし他の旅客に困っている時、他の席に移動し、バスの運転手に伝えこと。
- できるだけ人の多いバス停を選ぶこと。
- もしホームステイの近くのバス停で一人で不安の時はホストファミリーに連絡しもっと人の多いバス停に降りてもらおうかホームステイのコーディネータに連絡する。
- もし帰りが遅くなる時はホストファミリーにバス停などに迎えに来てもらうように頼む。
- **ジェイウォークはハワイでは違法**。ジェイウォークとは横断歩道が無い道を渡る時や信号が歩くを示してない時に渡ること。携帯などを見て横断歩道を歩くのも違法です。  
(例：テキストやインスタグラムを見るとこ)
- バスで忘れ物や無くし物をしたときは、**(808) 848-4444** に電話すること。その際



はメッセージを残し、無くした物、乗っていたバスのルート番号、日時、バスのどこに座り、どこから乗って降りたかを全て述べること。

## 家

- ドアと窓はしっかり鍵を締める。
- 予備の鍵をドアマットの下やメールボックスの中に隠さない。
- しばらくの間家を開ける場合は少し明かりをつけたり TV をつけたまま出て、外からは自分が家に居ないことがわからないようにする。
- 現金、ジュエリー、その他の高価なものを人が見えるところに置かない。
- パソコン等高価な電化製品がある部屋は常にカーテンを閉め、外にいる人から見えないようにする。
- 知らない人が来たら絶対にすぐにドアを開けない。覗き穴か窓から先にどんな人が確認する。



## ビーチ

- 曇りの日であろうと、常に日焼け止めを使う。SPF 30 以上のものを使うこと。
- ライフガードがいるビーチを選びライフガードがいる時に泳ぐ。
- 天候やニュースを考慮する。  
[hawaii beachesafety.com](http://hawaii beachesafety.com) にてビーチの状態をチェックすること。
- クラゲ注意報が出た時は泳ぎに行かない。
- ハリケーン、強風、高潮の時は泳ぎに行かない。
- 一人では泳がない。
- サメは夕暮れ、夜、夜明けに行動するため、その時間帯は避ける。
- コントラストが強い水着やキラキラしたアクセサリ等にサメは惹かれるため、身につけない。
- 血が出るような傷があるときは水に入らない。
- 飲酒している時や飲酒した後は泳がない。
- もし離岸流（海岸から沖に向かう海流）に飲まれた場合は対抗しようとしな。海岸と平行に泳ぎ離岸流のエリアから出た時にビーチの方に向かって泳ぐ。
- 尖っていたり、危険な生物が潜んでいることもあるため、サンゴ礁を踏まないようにする。



- 突然波に飲まれることのない様、絶対に波に背を向けない。

## その他のアウトドアアクティビティ

- 常にホストファミリーや友達に自分はどこに行くかなどの予定を伝える。
  - ハイキングに行くときは、一人で行かず決められたルートを歩く。できるだけ今までにそのハイキングに行ったことがある人と行く。
    - 迷子になった時、助けを求められるように、携帯電話を持っていく。携帯が満タンに充電されていることを確認すること。
- たくさんの水を持っていく。スナック類や救急セットもできれば持っていく。
- 川の水は沸騰させるか化学物質でろ過しないかぎり絶対飲まない。
- 蚊やその他の虫から皮膚を保護するために、虫よけスプレーを持参する。
- 特に豚の狩りが行われるハイキングの路では派手な色の服を着る。
  - ハイキングのための靴を履くこと。
  - ハイキング中に見つけた植物を食べない。
- 洪水警報や他の危険な天候についてのニュースを考慮する。
- 強い風や雨の日には行かないこと。
- 嵐や大雨の日の後は滑りやすいのでハイキングには行かないこと。
- ハイキング中に川を横切って渡るときは十分注意する。

## 自然災害時の注意事項

- サイレンを聞いたら、ラジオニュースをつけること。警防団の流す緊急情報と指示を聞くこと。**必要な行動を取る**こと。
  - テレビやラジオをつけ、公共機関の運営状況などをチェックすること。
  - 自然災害などの時には外に出ないこと！

## ハリケーンや深刻な嵐の時の注意事項

- ハワイでのハリケーン頻発時期は、大まかに6月1日から11月30日の間です。
- ハリケーンの時は、74 mph 以上の風が吹きます。
- 強風や大雨、洪水、高波の危険があります。
  - ハリケーン注意報ー36時間以内に嵐になることが予想されます。ニュースをよく聞き、緊急時の用品がどこにあるか把握し、備えること。

1395 Lower Campus Road, MC 13-1, Honolulu, HI, 96822

Telephone: (808) 956-6636

Web: <http://manoa.hawaii.edu/eslhelp>

An Equal Opportunity/Affirmative Action Institution



- ハリケーン警報—36時間以内に嵐になることが予想されます。ニュースで流れる緊急時の情報と指示をよく聞くこと。もし必要ならば、安全な場所や避難場所に避難すること。
- 熱帯防風雨の時は、39mph から 73mph の風が吹きます。
- ハリケーンの時期はUH 警戒に注意。
- もしハリケーンなどの深刻な天気の場合 UH から全生徒達への UH 閉鎖のメールが届きます。
- ホームステイに止まっている方達はホストファミリーと一緒にハリケーンの時に何をすれば良いのかを話し合ってください。
- Kalo Terrace や Waikiki Vista にお泊りの方は、常駐アドバイザー (RA) の方と緊急の時の話しをしてください。

#### 津波と洪水時の注意事項

- 連続性のある強い波は、海岸に影響を及ぼします。
  - 注意報—津波の可能性有り。ニュースを聞き、備えること。
  - 警報—サイレンが鳴ります。海岸から離れ、高台に避難すること。
- もしビーチにいたり、海の近くにいる、地震を感じた場合、高台の内地にすぐに移動すること。津波警報が出るのを待たないこと。
- もし道が水浸しになったら、水位が上がっているところを運転しようとしなないこと。

#### 地震の時の注意事項

- 予報無く起きた時。もしあなたが、
  - 屋内にいる時：**そこに留まること**  
! ガラス張りの窓や頭上の装飾品から逃げて、重い机や家具の下か壁に寄り掛かること。
  - 屋外にいる時：頭上に注意すること。壊れかけた建物に入らないこと。地震後の火事に注意すること。特に電線からの発火。
  - 運転しているとき：乗り物を安全で開けた場所で駐車すること。橋や木、電線、信号などの下では止まらないこと。揺れが収まるまで、車の中にいること。

#### 火事の時の注意事項

#### 火事が起きた時：

- すぐに911にかけること。
- 火災報知器を作動させること。
- 逃げ遅れることなく、建物から避難すること。
- 人々を安全なところに避難させるために、DPS に電話すること。
- **建物に戻らないこと。**
- 建物の入り口と非常口からは離れること。
- **エレベーターを使わないこと。**
- 煙を避ける時は、姿勢を低くすること。

#### 緊急時への準備

- ブランケットや懐中電灯、電池、救急箱、数日間腐らない食事、水をまとめて備蓄すること。
- ホストファミリーや量の RA との連絡プランを立てること。